



代表取締役 小堺 文彦様

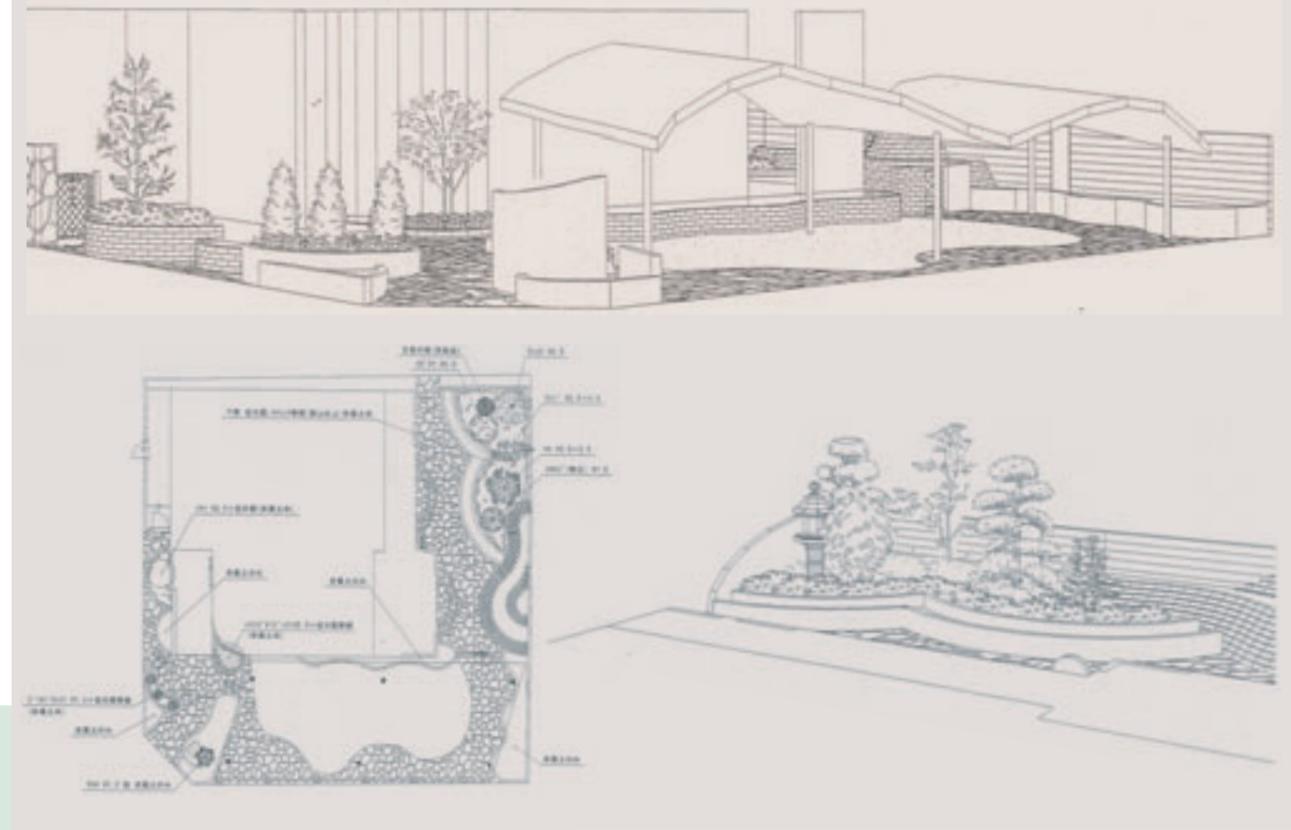
半年以上かけてじっくりと話し合い 住宅とエクステリアが一体になったデザインを提案

当社は住宅設計が中心の一級建築士事務所ですが、住まいづくりの一環としてエクステリアも一緒に設計することが多く、「内と外がひとつに溶け合った途切れないデザイン」をモットーとしています。お客様が心から満足して暮らせる住空間をつくり上げるために、当社では設計期間をかなり長くいただくようにしています。最低でも6か月、長いと1年半もかける場合もあります。もちろんエクステリアも最初の段階から住まいと一緒に計画。この期間中はディスカッションが中心で、酒を飲んで話し合うこともあります。ここでどのくらいお客様の「ホンネ」を引き出せるかが勝負。不満や希望、家族の生活スタイルなどをし

っかりと把握したうえでプランを煮詰めていきます。エクステリアのレイアウトには「室内からの視線」も大切にしています。リビングのソファから、ダイニングのテーブルから、お年寄りの和室から、一番きれいに見える位置に木を植え、花壇をつくり、家の中に居ながら外の景色を十分に楽しめるようにしています。またエクステリアは環境に配慮することも重要で、近隣の雰囲気に自然になじみ、かつ景観を豊かにするような印象的なデザインを心がけています。図面やパース画はCADと手描きを併用。CADは細部まで正確ですが、「ここはこういった意図でデザインしました」と提案する時は、手描きのほうが説得力があります。いずれにしても、まだできていない空間をお客様にイメージしてもらうのは難しもの。そこで当社では、今まで設計・施工したお宅を訪問して、空間の感じやディテールなどを見ていただく「見学会」も行っています。営業エリアは、地元だけでなく埼玉・千葉・東京と広範囲です。最近目立つのは、条件の厳しい狭小地に建てる都市型住宅。敷地を有効活用するためにも、住まいとエクステリアを一緒に計画する必要性がますます高まっているのを感じます。



第19回エクステリア施工コンテストH部門「プレゼンテーション部門」優秀賞受賞作品



設計のポイント

U様邸のエクステリアは、外壁の腰部分に天然石を貼り、床にもレインポーストーンを敷き詰めるなど自然素材をふんだんに使い、イエローの壁面とのコントラストも絶妙で、温かく素朴な雰囲気を演出しています。エントランスアプローチのゆるやかな曲線は、動線をスムーズにし、訪れる人をやさしく誘います。

カーポートは、車が趣味の施主様のご要望で4台駐車できるものを設計しました。柱は鋼鉄、屋根材には軽量で耐久性の高いガルバリウム鋼板を使用。屋根のダイナミックな曲線は「雲海」をイメージし、そこから切妻屋根が浮かび上がるという構図になっています。

中庭部分は、「手入れのしやすい庭に」というご要望に応え、花壇以外は天然石を敷き詰めため、草むしりや掃除が楽になったとご満足いただいています。花壇に高さをつけたのは、視覚的な効果だけでなく、かがまなくても植物の手入れができるようにとの配慮から。テラスには屋根をつけたので、雨が入らず、落ち着いてくつろげるアウトドアリビングになりました。

